

各位

上場会社名 株式会社東武住販
代表者 代表取締役社長 荻野 利浩
(コード番号 3297)
問合せ先責任者 取締役経理部長 河村 和彦
(TEL 083-222-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年7月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2024年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2023年6月1日～2023年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000	270	270	180	66.40
今回修正予想(B)	3,200	85	85	59	21.76
増減額(B-A)	△800	△185	△185	△121	
増減率(%)	△20.0	△68.5	△68.5	△67.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年5月期第2四半期)	3,900	313	312	218	81.15

2024年5月期通期個別業績予想数値の修正(2023年6月1日～2024年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	580	570	390	143.86
今回修正予想(B)	7,400	360	360	250	92.22
増減額(B-A)	△800	△220	△210	△140	
増減率(%)	△9.8	△37.9	△36.8	△35.9	
(ご参考)前期実績 (2023年5月期)	7,673	549	547	376	139.91

修正の理由

(1) 2024年5月期第2四半期(累計)

2024年5月期第2四半期(累計)は自社不動産の販売件数が182件と当初予想(2023年7月13日開示、以下同じ。)の243件を61件下回るとみられ、売上高も3,200百万円と当初予想の4,000百万円を下回る見通しです。利益面では、前述の通り売上高が当初予想を下回る見通しであることから、営業利益、経常利益及び当期純利益いずれも当初予想を下回り、上記表の通りと予想しております。

なお、自社不動産の販売件数が想定を下回った原因につきましては、新築建売事業者が新築物件の低価格施策を実施したことにより中古住宅である当社の自社所有物件と価格の面で競合したことに加え、景気の先行き及び金利の見通し難から顧客の住宅に対する買い控えが発生したとみられます。

(2) 2024年5月期通期

前述(1)の通り、第2四半期(累計)の業績が当初予想を下回る見通しであることから、2024年5月期通期の業績は、上記表を予想しております。

第3四半期以降の自社不動産の販売件数は、不動産売買仲介手数料が第2四半期から回復傾向にあり、顧客の買い控えが徐々に解消されつつあるとみられることから、当初の想定件数に達すると考えております。なお、2024年5月期通期の自社不動産の販売件数は433件(2024年5月期当初予想494件、2023年5月期実績459件)と予想しております。2024年5月期通期の営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、売上高が前述の予想値となることなどから、上記表の金額になると予想しております。

※本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上